News letter

Vol.15　　Dec. 2012

静岡県民間子育て支援活動応援事業の採択を受け、「親子が集う遊びと学びプロジェクト」を開催しています！

子育てサロン

平成24年10月18日（木）と12月12日（水）に「子育てサロン」を「静岡大学」と「たんぽぽ保育園」が連携して開催しました。子育て中の親子が交流できる場を提供するとともに、子どもと自由に遊び、保育士による子育ての話や相談を行いました。

10月18日は朝から雨が降ってしまい、参加した親子は3組7名でした。12月12日は、7組の親子14名が参加してくれました。

どろんこ遊び

平成24年11月14日（水）に「どろんこ遊びの会」を「静岡大学」と「たんぽぽ保育園」が連携して開催しました。参加した13組26名の親子は、土に触れる気持ち良さ、屋外で遊ぶ楽しさを実感し、どろんこ遊びに夢中になっていました。肌寒い日でしたが、あっという間に過ぎた楽しい1日でした。

自然体験学習

平成24年10月24日（水）に自然体験学習パート1「のんびり秋広場」、11月25日（日）にパート2「わいわい焚火クッキング」を「静岡大学」と「NPO法人しずおか環境教育研究会」が連携して開催しました。パート1は10組22名の親子、パート2は10組34名の親子、学生サークル「AVEC」の学生6名も補助指導員として参加しました。

両日とも、自分達で拾った薪で焚火をしたり、楽しみながら自然について多くのことを学んで、貴重な体験ができました。

世代間交流会

平成24年12月3日（月）に世代間交流会を「静岡大学」と「たんぽぽ保育園」が連携して開催しました。世代の異なる人とコニュニケーションを図り、珍しくて懐かしい遊びを通じて、親子でアイデアを出し合いながら、楽しく過ごしました。

参加した5組10名の親子は、学内で拾ったどんぐりや木の葉を使った遊びに歓声を上げていました。

今後の予定

- 1月10日（木）　絵本のよみきかせ
- 2月　7日（木）　子育てサロン
- 2月19日（火）「静岡おはなしかご」の節子さんと遊ぼう
- 3月予定　手作りおやつ＆食育

静岡大学
男女共同参画推進室

〒422-8529　静岡市駿河区大谷836
☎054-238-3052　FAX 054-238-3274
http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/
takenoko@adb.shizuoka.ac.jp

キャンパスフェスタin静岡
「あなたの自立体力をためしてみよう！」を開催しました

平成24年11月17日（土）、18日（日）の2日間、「静大キャンパスフェスタin静岡」が開催され、男女共同参画推進室では、多目的保育施設「たけのこ」において、教育学部の中野先生と学生の協力を得て、誰もが楽しみながらゲーム感覚で参加できる体力測定コーナーを開設しました。また、18日には、ミニ講演会も開催しました。

1日目は、激しい雨に見舞われましたが、2日目は天候に恵まれ、延84名の方が体力測定に訪れました。体力測定やミニ講演会は、自分の体力を見直すことができる良い機会になりました。

2012男女共同参画トップセミナー開催

平成24年10月17日（水）、講師に明治大学情報コミュニケーション学部教授の牛尾奈緒美先生をお招きし、学長をはじめ、両キャンパス併せて47名が参加して、男女共同参画トップセミナーを開催しました。

変動する社会に柔軟に対応し、活力ある大学を作っていくには「ダイバーシティ」についての理解が重要との視点から、ジェンダー・マネジメントやダイバーシティ経営の専門家である講師から、ダイバーシティの基本的考え方、具体的なノウハウなど、大学運営のレベルアップを図るため、講演いただきました。

第10回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム参加

男女共同参画学協会連絡会シンポジウムも10回を迎え、10周年のお祝いムードが感じられた賑やかな会でした。学協会連絡会の歩みを振り返る講演では、この10年で大きく男女共同参画が進んだ事を強く実感しました。その一方で、事業推進に伴い生じた新たな問題についても指摘がありました。特に、女性教職員比率の積極的な引き上げにはどの大学も苦労している実態が明らかになりました。交付金の削減や少子化に付随した学生数の減少によって教員定員数が削減傾向にある状況下においては、女性人事枠を増やすことは人事全体へ与える影響が大きく、その弊害が男性研究者に生じ不満の声が上がっています。

今回、最も印象的であったのは、午前分科会1『女性リーダーをどのように育てるか？』における渡辺美代子先生（東芝）の講演でした。同じ日本企業内であっても、管理職女性比率は日本国内では低いのに対し、北米や欧州の拠点では高いという大手2社のデータが示されました。また、国連の国別職員数は日本が世界第5位であるのに対し、その女性職員比率（59%）は第1位ということでした。さらに、日本から海外へ留学する女子学生の割合においても、高校生（75%）、大学生（70%前後）ともに高いことも示されました。これらのデータから、日本女性がグローバル人材として、語学力、（異文化）コミュニケーション能力に長け、主体性、積極性、協調性、柔軟性に富み、また高い背任感、使命感を持つという特長があることが解ります。

今後、日本社会はますます少子化が進み、GDPは低下、需要は低くなり、企業は国内での仕事が減り、海外へ事業を移すケースが増加すると考えられます。このように多くのグローバルな人材が求められる状況下において、日本女性の活躍が期待できると実感できるとともに、よりグローバルな人材育成に取り組まねばならないと心に火がつく講演でした。

（農学部准教授　本橋令子）

お知らせ

①春休み学童実施

平成25年の春休みに城北キャンパスで学童保育を実施します。募集開始は平成25年1月中ごろから予定しています。詳細は、後ほどHP等でお知らせします。

②多目的保育施設「たけのこ」の利用

平日の一時保育のほか、土曜、日曜、祝日もご利用できますので、男女共同参画推進室までお問い合わせください。

③施設の改善を要望

男女共同参画の視点から施設課に対して、女子トイレや休憩室の充実等について、各部局の現状を集約し、要望を伝えました。

静岡大学
男女共同参画推進室

〒422-8529　静岡市駿河区大谷836
☎054-238-3052　FAX 054-238-3274
http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/
takenoko@adb.shizuoka.ac.jp